

DERWENT-ACC-NO: 2002-325053

DERWENT-WEEK: 200236

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Electronic commerce method involves  
collecting bid-tendering result from each of  
supplier, based on electronic form for purchase order  
management

PATENT-ASSIGNEE: CRC SOGO KENKYUSHO KK[CRCSN]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0263877 (August 31, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC
JP 2002074045 A		March 12, 2002	N/A
012	G06F	017/60	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2002074045A		N/A	
2000JP-0263877		August 31, 2000	

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002074045A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The electronic form for bid-tendering request is referred, after receiving bid-tendering request notification through e-mail. The purchase order content in electronic form is confirmed or changed, depending on necessity. The manufacturer collect bid-tendering result from each of the supplier based on electronic form for purchase order management.

DETAILED DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is also included for electronic commerce server.

USE - For electronic commerce.

ADVANTAGE - Goods can be handled efficiently.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the flowchart explaining the electronic commerce method. (Drawing includes non-English language text).

CHOSEN-DRAWING: Dwg.2/7

TITLE-TERMS: ELECTRONIC METHOD COLLECT BID RESULT SUPPLY  
BASED ELECTRONIC FORM  
PURCHASE ORDER MANAGEMENT

DERWENT-CLASS: T01

EPI-CODES: T01-J05A;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-255359

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-74045  
(P2002-74045A)

(43) 公開日 平成14年3月12日 (2002.3.12)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	キーワード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 0	G 0 6 F 17/60	3 1 0 Z 5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C
	5 0 2		5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 12 頁)

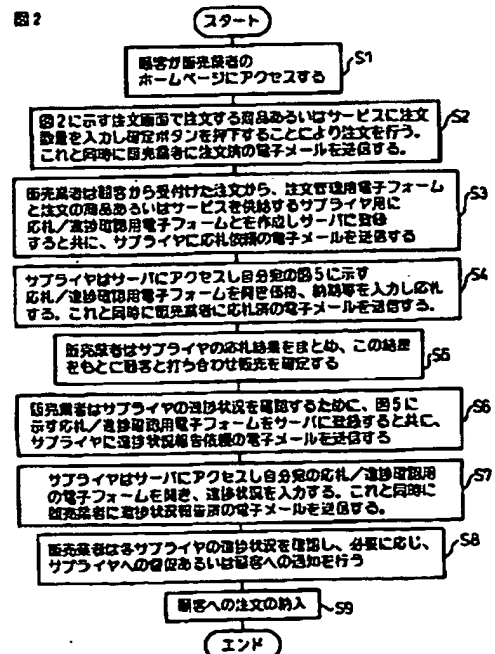
(21) 出願番号	特願2000-263877(P2000-263877)	(71) 出願人	592001975 株式会社シーアールシーソリューションズ 東京都江東区南砂2-7-5
(22) 出願日	平成12年8月31日 (2000.8.31)	(72) 発明者	山中 勝伸 東京都江東区南砂2丁目7番5号 株式会 社シーアールシー総合研究所内
		(74) 代理人	100077517 弁理士 石田 敬 (外4名) Fターム(参考) 5B049 B800 CC00 CC05 FF01 GG02

(54) 【発明の名称】 電子商取引方法及び電子商取引サーバ

(57) 【要約】

【課題】 注文内容について顧客、販売業者及びサプライヤ間で調整時間が必要な商品を、電子商取引で効率的に扱えるようにする。

【解決手段】 電子商取引方法であって、顧客が書き込む注文用電子フォーム11と、販売業者が書き込む注文管理用電子フォーム12と、サプライヤが書き込む応札依頼用電子フォーム16と、進捗管理用電子フォーム17とを互に関連付けて、電子商取引サーバのワークフロー機能と電子メール通知機能にて一元管理する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 注文を受けてもすぐに発送できず、販売業者と商品を供給するサプライヤとの間で調整するための時間を要する商品を販売業者と顧客との間で取引するための電子商取引方法であって、

前記販売業者の電子商取引サーバは、商品名を掲載した少なくとも1つの注文用電子フォームを電子商取引ホームページに掲載し、

前記顧客は、インターネットに接続された端末からインターネットを介して前記販売業者の電子商取引サーバにアクセスして前記電子商取引ホームページを閲覧して注文する商品名が掲載されている注文用電子フォームを選択し、該選択された注文用電子フォームに注文内容を書き込み、該注文内容を確認することにより前記販売業者に対して商品を注文し、

前記販売業者は、前記選択され注文内容が書き込まれた注文用電子フォームに対応する注文管理用電子フォームに前記注文内容を転記して前記電子商取引サーバに登録し、前記注文内容の商品を供給するサプライヤに対して応札依頼を行うために応札依頼用電子フォームを電子商取引サーバに登録すると共に該サプライヤに電子メールで応札依頼を通知し、

前記サプライヤは、前記電子メールによる応札依頼の通知を受けた後に、前記電子商取引サーバにアクセスして自身宛の応札依頼用電子フォームを開き、該電子フォームに書き込まれた注文内容を確認し且つ必要に応じて変更した後に受注内容を確認することにより応札し、

その後、前記販売業者は前記サプライヤの各々からの応札結果が表示される注文管理用電子フォームに基づいて応札結果をまとめて受注条件を決定した後、前記顧客と打合せて販売契約を確定することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項2】 前記販売業者は、前記顧客との間で前記販売契約を確定した後に、前記サプライヤの各々に受注商品の準備の進捗状況を確認するための進捗管理用電子フォームを前記電子商取引サーバに登録すると共に、電子メールで前記サプライヤに進捗状況確認依頼を行ったことを通知し、

前記通知を受けた前記サプライヤは、前記電子商取引サーバにアクセスして自身宛の進捗管理用電子フォームを開いて進捗状況を書き込んだ後、書き込んだ進捗状況を確認することにより進捗状況を前記電子商取引サーバに報告し、

前記販売業者はこれらの進捗状況が書き込まれた注文管理用電子フォームの確認に基づいて、前記サプライヤへの督促又は前記顧客への通知を行うことを可能にしたことを特徴とする、請求項1に記載の電子商取引方法。

【請求項3】 前記電子商取引サーバは、前記顧客が注文すると該注文に対応する注文番号を自動的に発生し、該発注以後の前記注文用電子フォーム、前記注文管理用

2

電子フォーム、前記応札依頼電子フォーム及び前記サプライヤに受注商品の準備の進捗状況を確認するための進捗管理用電子フォームに前記注文番号を付与し、前記注文番号に対応付けられたファイルに格納することの特徴とする請求項1に記載の電子商取引方法。

【請求項4】 前記顧客が前記電子商取引サーバに対して商品を注文すると、前記電子商取引サーバが前記販売業者に対して自動的に電子メールで前記注文があったことを通知し、

10 前記サプライヤが前記電子商取引サーバに対して応札を行うと、前記電子商取引サーバが自動的に電子メールで販売業者に前記応札があったことを通知することを特徴とする請求項1に記載の電子商取引方法。

【請求項5】 さらに前記サプライヤは、前記進捗管理用電子フォームに進捗状況を書き込んで進捗状況の報告を行うと、前記電子商取引サーバが自動的に前記販売業者に電子メールで進捗状況を報告したことを通知することを特徴とする請求項2に記載の電子商取引方法。

【請求項6】 前記販売業者の前記電子商取引サーバと前記サプライヤの端末との接続はインターネットを使用することを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の電子商取引方法。

【請求項7】 注文を受けてもすぐに発送できず、販売業者と商品を供給するサプライヤとの間で調整するための時間を要する商品を販売業者と顧客との間で取引するための電子商取引サーバであって、

商品名を掲載した少なくとも1つの注文用電子フォームと、該商品名に対応する応札依頼用電子フォームと、注文管理用電子フォームとを格納するワークフロー管理部を備え、

30 前記顧客は、インターネットに接続された端末からインターネットを介して前記販売業者の電子商取引サーバにアクセスして前記注文用電子フォームを閲覧して注文する商品名が掲載されている注文用電子フォームを選択し、該選択された注文用電子フォームに注文内容を書き込み、該注文内容を確認することにより前記販売業者に対して商品を注文し、

前記販売業者は、前記選択され注文内容が書き込まれた注文用電子フォームに対応する注文管理用電子フォームに前記注文内容を転記して前記電子商取引サーバに登録し、注文内容の商品のサプライヤに応札依頼を行うために応札依頼用電子フォームを電子商取引サーバに登録すると共に、該サプライヤに電子メールで応札依頼を通知し、

前記サプライヤは、前記電子メールによる応札依頼の通知を受けた後に、前記電子商取引サーバにアクセスして自身宛の応札依頼用電子フォームを開き、該電子フォームに書き込まれた注文内容を確認し且つ必要に応じて変更した後に受注内容を確認することにより応札し、

50 その後、前記販売業者は前記サプライヤの各々からの応

れ結果が表示される注文管理用電子フォームに基づいて  
 応札結果をまとめて受注条件を決定した後、前記顧客と  
 打合せて販売契約を確定するようにしたことを特徴とす  
 る電子商取引方法に使用する電子商取引サーバ。

【請求項8】 前記販売業者は、前記顧客との間で前記  
 販売契約を確定した後に、前記サプライヤの各々に受注  
 商品の準備の進捗状況を確認するための進捗管理用電子  
 フォームを前記電子商取引サーバに登録すると共に、電  
 子メールで前記サプライヤに進捗状況確認依頼を行った  
 ことを通知し、

前記通知を受けた前記サプライヤは、前記電子商取引サ  
 ーバにアクセスして自身宛の進捗管理用電子フォームを  
 開いて進捗状況を書き込んだ後、書き込んだ進捗状況  
 を確定することにより進捗状況を前記電子商取引サーバに  
 報告し、

前記販売業者はこれらの進捗状況の確認に基づいて、前  
 記サプライヤへの督促又は前記顧客への通知を行うこと  
 を可能にしたことを特徴とする、請求項7に記載の電子  
 商取引サーバ。

【請求項9】 前記電子商取引サーバは、前記顧客が注  
 文すると該注文に対応する注文番号を自動的に発生し、  
 該注文以後の前記注文用電子フォーム、前記注文管理用  
 電子フォーム、前記応札依頼用電子フォーム、及び前記  
 サプライヤに受注商品の準備の進捗状況を確認するため  
 の進捗管理用電子フォームに前記注文番号を付与し、前  
 記注文番号に対応付けられたファイルに格納することを  
 特徴とする請求項7に記載の電子商取引サーバ。

【請求項10】 前記顧客が前記電子商取引サーバに対  
 して商品を注文すると、前記電子商取引サーバが前記販  
 売業者に対して自動的に電子メールで前記注文があった  
 ことを通知し、

前記サプライヤが前記電子商取引サーバに対して応札を  
 行うと、前記電子商取引サーバが自動的に電子メールで  
 販売業者に前記応札があったことを通知することを特徴  
 とする請求項7に記載の電子商取引サーバ。

【請求項11】 さらに前記サプライヤは、前記進捗管  
 理用電子フォームに進捗状況を書き込んで進捗状況の報  
 告を行うと、前記電子商取引サーバが自動的に前記販売  
 業者に電子メールで進捗状況を報告したことを通知する  
 ことを特徴とする請求項8に記載の電子商取引サーバ。

【請求項12】 前記販売業者の前記電子商取引サーバ  
 と前記サプライヤの端末との接続はインターネットを使  
 用することを特徴とする請求項7から11のいずれか一  
 項に記載の電子商取引サーバ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はインターネットを使  
 用した電子商取引方法及び電子商取引サーバに関し、特  
 に、注文を受けてもすぐに発送できず、販売業者と商品  
 を供給するサプライヤとの間で調整するための時間を要

する商品を販売業者と顧客との間で取引するための電子  
 商取引方法及びこの方法を実施する電子商取引サーバに  
 関する。

【0002】 上記のような注文内容を調整するために時  
 間を要する商品としては、例えば、データセンタにおけ  
 るフロアの使用、電力設備の使用、通信設備の使用、機  
 械の設置、オペレーションシステムの開発等のサービス  
 のように複数のサプライヤが係わる商品がある。また、  
 納入までに工事とか開発作業を伴う商品がある。本発明  
 はこのような商品についての電子商取引方法及び電子商  
 取引サーバに関する。

【0003】

【従来の技術】 インターネットを利用した電子商取引が  
 盛んになってきた。従来の電子商取引は顧客が電子商取  
 引サーバにより表示される商品を選択すると、その商品  
 が直ちに送られてくるというものである（例えば特開平  
 2000-132596号公報）。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 電子商取引で販売する  
 商品がすでに完成したものであれば上記の方法で行って  
 も問題ないが、販売するものが例えば、データセンタに  
 おけるフロアの使用、電力設備の使用、通信設備の使  
 用、機械の設置、オペレーションシステムの開発等のサ  
 ービスのように複数のサプライヤが係わる商品や、納入  
 までに工事とか開発作業を伴う商品である場合は、複数  
 のサプライヤが関係し、かつ工事とか開発作業が必要と  
 なるため注文を受けても、直ちに顧客に商品を発送する  
 ということができない。このため、これらの商品は電子  
 商取引で販売するには適さないという問題があった。

【0005】 本発明の目的は、このように注文を受けて  
 から注文内容について顧客と販売業者との間やサプラ  
 イヤと販売業者との間で調整時間が必要な商品を、電子商  
 取引で効率的に扱うことが可能な電子商取引方法及び電  
 子商取引サーバを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するた  
 めに、本発明の第一の態様によれば、販売業者の電子商  
 取引サーバに、商品名を掲載した少なくとも1つの注文  
 用電子フォームを電子商取引ホームページに掲載し、顧  
 客は、インターネットに接続された端末からインターネ  
 ットを介して販売業者の電子商取引サーバにアクセスし  
 て電子商取引ホームページを閲覧して注文する商品名が  
 掲載されている注文用電子フォームを選択し、選択され  
 た注文用電子フォームに注文内容を書き込み、注文内容  
 を確定することにより販売業者に対して商品を注文し、  
 販売業者は、選択された注文内容が書き込まれた注文用  
 電子フォームに対応する注文管理用電子フォームに注文  
 内容を転記して電子商取引サーバに登録し、注文内容の  
 商品を供給するサプライヤに対して応札依頼を行うため  
 に応札依頼用電子フォームを電子商取引サーバに登録す

ると共に、サプライヤに電子メールで応札依頼を通知し、サプライヤは、電子メールによる応札依頼の通知を受けた後に、電子商取引サーバにアクセスして自身宛の応札依頼用電子フォームを開き、電子フォームに書き込まれた注文内容を確認し且つ必要に応じて変更した後、受注内容を確定することにより応札し、その後、販売業者はサプライヤの各々からの応札結果が書き込まれた注文管理用電子フォームを見て、応札結果をまとめて受注条件を決定した後、顧客と打合せて販売契約を確定することを特徴とする電子商取引方法が提供される。

【0007】サプライヤは販売業者から電子メールを受信することにより応札依頼があったことを知ってから、応札可能な条件で応札をし、販売業者は各サプライヤから収集した応札結果が書き込まれた注文管理用電子フォームを見て応札結果をまとめて受注条件を決定して、その受注条件で顧客と打ち合わせて最終的な販売契約を確定できるので、顧客と販売業者との間やサプライヤと販売業者との間で調整時間が必要な商品であっても、電子商取引により販売することが可能になる。

【0008】本発明の第二の態様によれば、第一の態様において、販売業者は、顧客との間で販売契約を確定した後に、サプライヤの各々に受注商品の準備の進捗状況を確認するための進捗管理用電子フォームを電子商取引サーバに登録すると共に、電子メールでサプライヤに進捗状況確認依頼を行ったことを通知し、通知を受けたサプライヤは、電子商取引サーバにアクセスして、自身宛の進捗管理用電子フォームを開いて進捗状況を書き込んだ後、書き込んだ進捗状況を確定することにより進捗状況を電子商取引サーバに報告し、販売業者はこれらの進捗状況が書き込まれた注文管理用電子フォームの確認に基づいて、サプライヤへの督促又は顧客への通知を行うことを可能にしたことを特徴とする電子商取引方法が提供される。

【0009】受注商品の準備の進捗状況を確認することが可能なので、安心して電子商取引をすることができ、本発明の第三の態様によれば、第一の態様において、電子商取引サーバは、顧客が注文すると注文に対応する注文番号を自動的に発生し、発注以後の注文用電子フォーム、注文管理用電子フォーム、応札依頼用電子フォーム及びサプライヤに受注商品の準備の進捗状況を確認するために進捗管理用電子フォームに注文番号を付与し、注文番号に対応付けられたファイルに格納することを特徴とする電子商取引方法が提供される。

【0010】一つの注文に対して、サプライヤがいくつであっても一つの注文番号がファイルに付与されるので、注文した商品が納入されるまでにそのファイルの中の電子フォームを容易にアクセスして中身を確認したり、変更したりすることが可能となり、電子商取引を柔軟に行うことができる。また注文管理用電子フォームには1つの注文に対する注文数量、応札結果、進捗状況が反映さ

れる。

【0011】本発明の第四の態様によれば、第一の態様において、顧客が電子商取引サーバに対して商品を注文すると、電子商取引サーバから販売業者に、自動的に電子メールで注文があったことを通知し、サプライヤが電子商取引サーバに対して応札を行うと電子商取引サーバから自動的に電子メールで販売業者に通知することを特徴とする電子商取引方法が提供される。

【0012】注文があったことを電子メールで販売業者に知らせるので、販売業者は注文があったことを容易且つ迅速に知ることができる。また、応札依頼をしたことを電子メールでサプライヤに通知するので、サプライヤは応札依頼があったことを容易且つ迅速に知ることができる。本発明の第五の態様によれば、第二の態様において、さらにサプライヤは、進捗管理用電子フォームに進捗状況を書き込んで進捗状況の報告を行うと、電子商取引サーバが自動的に販売業者に電子メールで進捗状況を報告したことを通知することを特徴とする電子商取引方法が提供される。

【0013】進捗確認の通知を電子メールでサプライヤに通知するので、サプライヤは迅速に進捗状況を販売業者に報告することができ、従って、販売業者はサプライヤに対して督促を行ったり顧客に進捗状況を通知することが容易にでき、顧客は安心して電子商取引を行うことができる。本発明の第六の態様によれば、第一〜第五の態様において、販売業者の電子商取引サーバとサプライヤの端末との接続はインターネットを使用することを特徴とする電子商取引方法が提供される。

【0014】インターネットは誰でも使用できるので、サプライヤとしては、閉じた範囲から選択されるものに限らず、広く一般から募集することが可能となる。本発明の第七の態様によれば、第一〜第六の態様による電子商取引方法を実現する電子商取引サーバが提供される。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を詳述する。

【0016】（請求項1及び7に対応する実施例）図1は本発明の一実施形態にかかる電子商取引システムの全体構成を示すブロック図である。図1において、インターネット1には、複数の顧客2のそれぞれの端末3と、複数のサプライヤ4のそれぞれの端末5と、電子商取引サーバ6と、販売業者14のそれぞれの端末15とが接続される。電子商取引サーバ6は、電子商取引ホームページ7を掲載可能であり、そのための商品の名称等や内容及び所定のフォーマットの注文用電子フォーム、注文管理用電子フォーム、応札依頼用電子フォーム及び進捗管理用電子フォームを格納するデータベース8と、注文を受けてから電子商取引を成立させるまでの間で使用される電子フォームを管理するワークフロー管理部9とを備えている。以下の実施例では応札依頼用電子フォーム

と進捗管理用電子フォームを結合して1つの応札/進捗確認用電子フォームとしている。ワークフロー管理部9は注文番号に対応したファイル10を含んでおり、各ファイル10は注文用電子フォーム11、注文管理用電子フォーム12、及び応札/進捗確認用電子フォーム13を含んでいる。

【0017】電子商取引サーバ6は、商品及びサービスを顧客2に対してインターネット1を利用して販売するために用いられるコンピュータである。ここでいう商品としては、例えば、データセンタにおけるフロア、電力設備、通信設備、又は機械設置の使用、コンピュータシステムによる各種オペレーションの使用、各種ツールの使用、システム開発等がある。販売業者がデータセンタを兼ねてもよい。また、電子商取引サーバ6は複数の販売業者14で共有されることが好ましい。電子商取引サーバ6は販売業者から独立して設けてもよい。

【0018】サプライヤ4はそれらの商品を提供するための供給業者である。サプライヤ4は単一であっても複数存在していてもよい。注文を受けてから商品を顧客に納入するまでの時間は、注文の内容及びサプライヤ4の供給能力によってまちまちである。例えばコンピュータのオペレーションの依頼があった場合は、そのオペレーションを行うオペレータを確保する必要があるが、緊急を要する場合とそうでない場合や、作業内容の複雑さの度合い等によって、オペレータの確保に要する時間が異なる。また、サプライヤ4がそれらの商品を提供するまでには、工事とか開発作業が必要な場合もある。このため、電子商取引サーバ6は、顧客2からの注文を受けて直ちにその顧客2に発送できない商品を販売するために使用される。

【0019】サプライヤ4の端末5はインターネット1ではなく専用回線あるいは販売業者のイントラネットで販売業者の電子商取引サーバ6と接続されてもよい。図2は図1に示したシステムを用いる、本発明の一実施例による電子商取引方法を説明するフローチャートである。図1及び図2において、ステップS1で顧客2は顧客の端末3経由で販売業者の電子商取引サーバ6にアクセスし電子商取引ホームページ7を閲覧して販売業者の提供する商品あるいはサービスの価格を調べる。具体的には、図3に例示した予め定められたフォーマットの注文用電子フォーム11を顧客2の端末3に表示させる。注文用電子フォームは、商品の種類により各種用意されており、顧客はそこから注文しようとする商品名が掲載されている注文用電子フォームを選択する。

【0020】図3は電子商取引ホームページ7に表示される注文用電子フォーム11の一例を示す図である。図示のように、注文用電子フォーム11には、注文番号を表示する欄と、商品又はサービスの種類とが掲載されている。図示の例では、商品の例として、スペース利用、電気・空調利用、オペレーション、ツール利用が示され

ている。

【0021】スペース利用とは、サービスセンタにおける人員や機器を配置するための空間の利用等である。その単価は、例えば、坪当たりの値段である。顧客2が数量を記入することにより、スペース利用面積の算出法に基づいて電子商取引サーバ6が初期費用の小計と月額費用の小計を自動的に計算してこの注文用電子フォーム11に表示する。他の項目についても、顧客が数量を書き込むと、電子商取引サーバ6はその初期費用の小計と月額費用の小計を自動的に計算して注文用電子フォーム11に表示する。

【0022】電気・空調利用とは、サービスセンタにおける電気及び空調設備の利用であって、その単価は例えば1時間当たりの使用量である。オペレーションとは、サービスセンタに配置した顧客のコンピュータシステム等を用いたモニター監視、データのバックアップ、印刷、データ保管、等のサービスであって、サービス内容に応じた所定の単価が定められている。

【0023】ツール利用とは、サービスセンタが所有するコンピュータシステム等のツールの利用であって、OS監視・管理、データベースの監視・管理、ジョブ監視・管理、ネットワーク監視・管理、障害通知等のサービスがあり、サービス内容に応じた所定の単価が定められている。図2のステップS2で、顧客2は、発注しようとする商品名が掲載されている選択された注文用電子フォーム11を使用して注文数等の注文内容を書き込む。具体的にはそれぞれのサービスに対応する数量を顧客が書き込むことにより、対応する算出法によって初期費用の小計と月額費用の小計が電子フォーム11に表示される。また、それぞれの商品又はサービスの小計の合計も電子フォーム11に表示される。これと同時に、電子商取引サーバ6は注文番号をこの選択された注文用電子フォーム11に自動的に付与する。

【0024】注文用電子フォーム11に表示された注文内容に誤りが無いと顧客が判断すると、顧客は注文用電子フォーム11上の確定ボタンを押下することにより、注文を確定する。この確定をトリガとして、電子商取引サーバ6に注文が登録される。注文を取り消す場合は、確定ボタンを押下する前に取消ボタンを押下すればよい。

【0025】確定ボタンを押下すると、電子商取引サーバ6から販売業者に注文済である旨の電子メールが送信される。図2のステップS3で、販売業者15はこの電子メールを受けて注文があったことを知る。すると販売業者14は、その注文用電子フォーム11に対応づけられた注文管理用電子フォーム12を作成し、この注文管理用電子フォーム12に上記と同じ注文番号を自動的に付与する。具体的には、当該注文の商品を提供する各サプライヤ4に対して応札依頼をするためのあらかじめ定められたフォーマットの注文管理用電子フォーム12に

顧客からの注文数等を書き込み電子商取引サーバに登録する。

【0026】図4はサプライヤのそれぞれに対して応札するための注文管理用電子フォーム12の一例を示す図である。図示のように、この注文管理用電子フォーム12には、図3に示した注文用電子フォーム11の内容に加えて、注文番号、依頼日、進捗、納期、及び価格のタイトルが表示されている。注文管理用電子フォーム12の初期費用及び月額費用の欄には、数量を記入することにより自動的に計算された数値が入力される。また、図4の右側に表示されている「電源工事応札」、「ラック  
10 応札」・・・等のボタンは、電気工事等の応札依頼、ラックの販売の応札依頼、オペレーションの応札依頼、帳票運送の応札依頼、データ保管の応札依頼、サービスセンタのOS監視・管理の応札依頼、サービスセンタのデータベース監視・管理の応札依頼、サービスセンタのジョブ監視・管理の応札依頼、サービスセンタのネットワーク監視・管理の応札依頼、及びサービスセンタの障害通知の応札依頼をそれぞれ対応するサプライヤに対して行うための応札依頼ボタンである。

【0027】販売業者が注文管理用電子フォーム12に依頼日と、納期と、価格とを記入し、応札依頼ボタンを押下することにより、電子商取引サーバ6には、各サプライヤ毎に図5に例示したような予め定められたフォーマットの応札／進捗確認用電子フォーム13がサプライヤ毎に作成されて登録されるとともに、電子メールで自動的に販売業者から対応するサプライヤ4に応札依頼があった旨が通知される。

【0028】この応札／進捗確認用電子フォーム13に代えて、応札依頼用電子フォーム16と進捗管理用電子  
30 フォーム17（図6参照）とを別々に作成してもよい。応札／進捗確認用電子フォーム13には、注文番号と、注文があった商品に関する摘要、数量、単価、及び金額のテーブルが表示されているとともに、図4に示した注文管理用電子フォーム12に書き込まれている、販売業者が提示した価格及び納期が転記されている。

【0029】図2のステップS4では、通知を受けたサプライヤ4は販売業者の電子商取引サーバ6にアクセスし自身宛の図5に示した応札／進捗確認用電子フォーム13を開く。サプライヤ4は販売業者の提示価格又は納  
40 期に同意できない場合は変更ありの対応するチェックボックスにチェックを入れて変更後の価格又は納期を書き込む。また、サプライヤ4は決済条件及び納入場所の欄にも必要事項を書き込む。これらの変更後の価格及び納期は、電子商取引サーバ6内のソフトウェアにより図4の注文管理用電子フォーム12にも反映される。即ち、図4の注文管理用電子フォーム12における価格及び納期は図5の応札／進捗確認用電子フォーム13における価格及び納期と一致するように書き換えられる。これにより、販売業者は顧客からの注文の状況と、サプライヤ

からの応札の状況とを注文管理用電子フォーム12を参照することにより同時に見ることができる。

【0030】サプライヤ4は、応札／進捗確認用電子フォーム13の内容に同意できると判断すると確定ボタンを押下する。この確定ボタンの押下をトリガとして、自動的に電子メールが電子商取引サーバ6から販売業者に送られて、サプライヤ4が販売業者に応札したことが通知される。ステップS5では、販売業者はサプライヤの各々からの応札結果が書き込まれた注文管理用電子  
10 フォームを見て応札結果をまとめて納期等の受注条件を決定した後、顧客と打ち合わせて販売を確定する。

【0031】（請求項2に対応する実施例）図2のステップS6では、販売業者はサプライヤによる納品準備の進捗状況を確認するために適宜、サプライヤ4に予め定められたフォーマットの応札／進捗確認用電子フォーム13を電子商取引サーバ6の該当する注文番号に対応づけられたファイル10に登録すると共に、自動的に電子メールでサプライヤ4に進捗状況報告依頼を通知する。応札／進捗確認用電子フォーム13に代えて応札依頼用  
20 電子フォーム16と進捗管理用電子フォーム17（図6参照）とを独立に形成して電子商取引サーバ6に登録してもよい。図5に示すように、応札用と進捗確認用とを兼用する場合は、進捗状況を表示する欄を設けてその欄に進捗状況、例えば、良好とか遅延とか遅延の程度とかを記入するようにすればよい。応札／進捗確認用電子フォーム13に記入された進捗状況は、電子商取引サーバ6内のソフトウェアにより図4に示した注文管理用電子フォーム12内の「進捗」の欄にも記入される。

【0032】こうして、販売業者は、図4に示した注文管理用電子フォーム12の図示左側のデータを見ることにより、顧客の提示した初期費用と月額費用を確認するとともに、これと同時に図示右側のデータを見ることにより進捗状況、サプライヤの提示する納期、サプライヤの提示する価格、及び進捗状況を確認できるので、取引の内容及び進捗状態を短時間で簡単に把握できる。

【0033】ステップS7では、進捗状況報告依頼を受けたサプライヤ4は販売業者の電子商取引サーバ6にアクセスして自身宛の応札／進捗確認用電子フォーム13を開き進捗状況を書き込んだ後、確定ボタンを押下することにより進捗状況を報告する。これと同時に自動的に電子メールで販売業者に進捗状況を報告したことを通知する。

【0034】ステップS8では、販売業者は注文番号に対応する応札／進捗確認用電子フォーム13の内容を読むことによりサプライヤの納品準備の進捗状況を確認しサプライヤへの督促あるいは顧客への通知等を行う。次いでステップS9で、顧客の注文した商品又はサービスを顧客に納入して、この電子商取引は終了する。

【0035】（請求項3に対応する実施例）図6は電子  
50 取引サーバ6内のファイル10の内容の一例を示す図で



11

ある。図に示すように該当する注文番号に対応するファイル10には、顧客2からの注文用電子フォーム11と注文管理用電子フォーム12と複数のサプライヤ4の各々に対する応札依頼用電子フォーム16と、複数のサプライヤ4の各々に対する進捗管理用電子フォーム17とが登録されている。応札依頼用電子フォーム16と進捗管理用電子フォーム17とをまとめて、図5に示した応札／進捗確認用電子フォーム13としてもよい。各サプライヤ4は電子商取引サーバ6にアクセスして自身宛の応札／進捗確認用電子フォーム13を開き必要事項を書き込み確定ボタン等を押下することにより応札の実施、進捗状況の報告を行う。販売業者は注文番号に対応するファイル10内の注文管理用電子フォーム12を開くことにより注文に対する状況を確認して顧客との交渉あるいは通知、サプライヤとの交渉あるいは通知を行う。 \*

#### 応札依頼用電子メール例

「サプライヤ××殿

この度、注文を受け付けましたので電子商取引サーバにアクセスして応札していただくようお願いいたします。注文番号は〇〇〇です。□□月△△日までにご回答をお願いいたします。

以上

〇×□年□月×△日」

#### 進捗確認依頼用電子メール例

「サプライヤ××殿

この度、進捗状況確認の依頼を受け付けましたので電子商取引サーバにアクセスしてご報告していただくようお願いいたします。注文番号は〇〇〇です。□□月△△日までにご回答をお願いいたします。

以上

〇×□年□月×△日」

サプライヤ6が応札の実施又は進捗状況の報告を行うことにより電子商取引サーバ6は電子メールソフトを起動させて販売業者の電子メールアドレスを取得し、注文番号を含む応札への回答又は進捗状況報告の電子メールを販売業者14に向けて送信するソフトウェアを、電子商取引サーバ6が構成要素として有する。

【0039】（請求項6に対応する実施例）販売業者の電子商取引サーバ6とサプライヤ4の端末5との接続をインターネットを使用して行う。インターネットは誰でも接続できるため、サプライヤとして閉じた範囲だけでなく、広く一般から募集することが可能となる。

【0040】図7は上記電子商取引方法を、顧客と、販売業者と、サプライヤとの間で実行する場合の処理の流れを説明する流れ図である。図示のように、顧客2は注文用電子フォームに注文内容を書き込み、確定又は取消しをする。確定した場合は、電子商取引サーバ6から販売業者に発注済の電子メールが送られる。販売業者は、注文内容に応じて、例えば、電源工事であれば、電源工事応札担当部署にて電源工事応札依頼のための注文管理用電子フォームに所定事項を記入して応札依頼をする。

サプライヤはこの応札依頼に応じて応札をするか応札を※50

12

\*【0036】（請求項4及び請求項5に対応する実施例）顧客2が電子商取引サーバ6のホームページ7にウェブブラウザによりアクセスして注文を行うと、電子商取引サーバ6は電子メールソフトを起動させて販売業者の電子メールアドレスを取得し注文番号を含む注文受付の電子メールを、販売業者2に向けて送信するソフトウェアを、電子商取引サーバ6が構成要素として有する。

【0037】また、販売業者が電子商取引サーバ6に応札／進捗確認用電子フォームを登録すると、電子商取引サーバ6はこの登録と同時に電子メールソフトを起動させて応札／進捗確認用電子フォームの宛先の電子メールアドレスを取得し、下記のような注文番号を含む応札依頼あるいは進捗確認依頼の電子メールを送信するソフトウェアを、電子商取引サーバ6が構成要素として有する。

【0038】

30※取り消す。確定した場合は電気工事サプライヤにおいて注文を受け付ける。他の注文についても応札担当部署で応札依頼をするとともに、それぞれ対応する応札依頼の電子メールが対応するサプライヤに送信される。それぞれのサプライヤは応札をすると、応札済の電子メールを販売業者に送信する。販売業者はサプライヤからの応札結果を纏めて、この結果に基づいて顧客と打合せをし、販売を確定する。

【0041】以上、本発明の一実施形態を説明したが、この実施形態はあくまで本発明の説明のための例示であり、本発明をこの実施形態のみに限定する趣旨ではない。従って本発明は上記実施形態以外の様々な形態でも実施することができる。

【0042】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明によれば、従来は電子商取引に向かなかった工事、開発等の作業が入る商品およびサービスを電子商取引システムとワークフロー管理を使用して効率的に販売することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電子商取引システムの全体構成を示す

ブロック図である。

【図2】本発明の一実施の形態による電子商取引方法を説明するフローチャートである。

【図3】ホームページに表示される商品およびサービスの注文用電子フォームの例を示す図である。

【図4】販売者の注文管理用電子フォームの例を示す図である。

【図5】サプライヤが応札及び進捗状況を報告するための応札／進捗確認用電子フォームの例を示す図である。

【図6】注文番号に対応付けられたファイルに格納された電子フォームを示す図である。

【図7】電子商取引方法を、顧客と、販売者と、サプライヤとの間で実行する場合の処理の流れを説明する流れ図である。

【符号の説明】

1…インターネット

2…顧客

3…顧客の端末

4…サプライヤ

5…サプライヤの端末

6…電子商取引サーバ

7…ホームページ

8…データベース

9…ワークフロー管理部

10…ファイル

11…注文用電子フォーム

12…応札依頼用電子フォーム

13…応札／進捗確認用電子フォーム

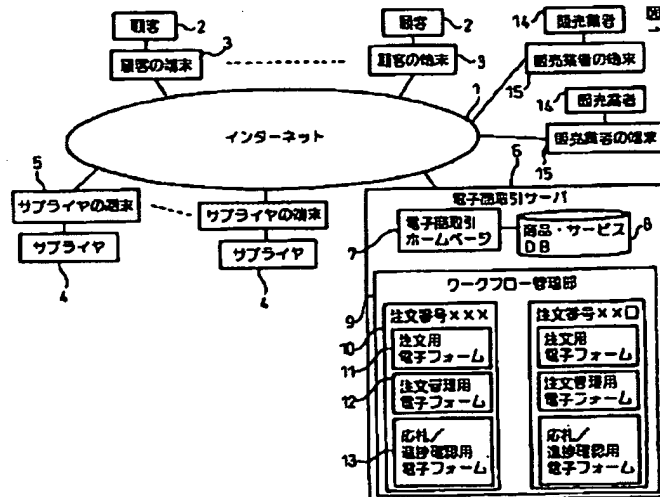
14…販売業者

15…販売業者の端末

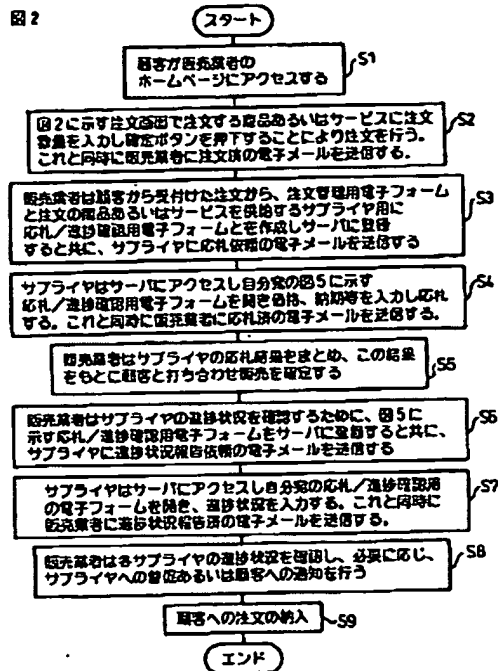
16…応札依頼用電子フォーム

17…進捗管理用電子フォーム

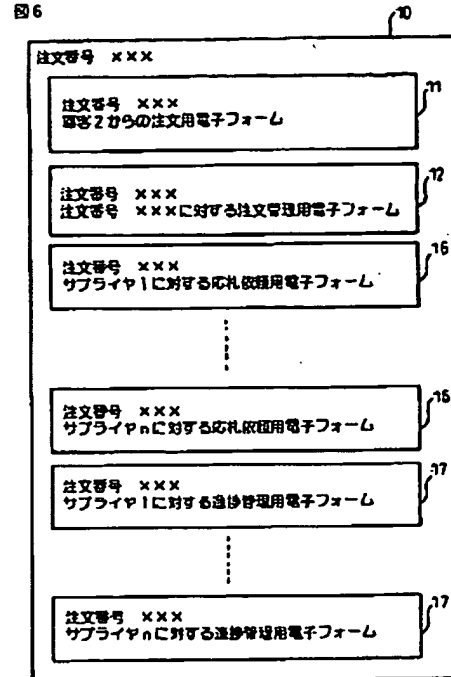
【図1】



【図2】



【図6】



【図5】

図5

応札/進捗管理用電子フォーム

注文番号 XXX

ラック応札/進捗管理

品名  数量  単位

納期  価格

納入場所

品名	数量	単位 (円)	金額 (円)
XXXXXXXXXXXX			

**图 3**

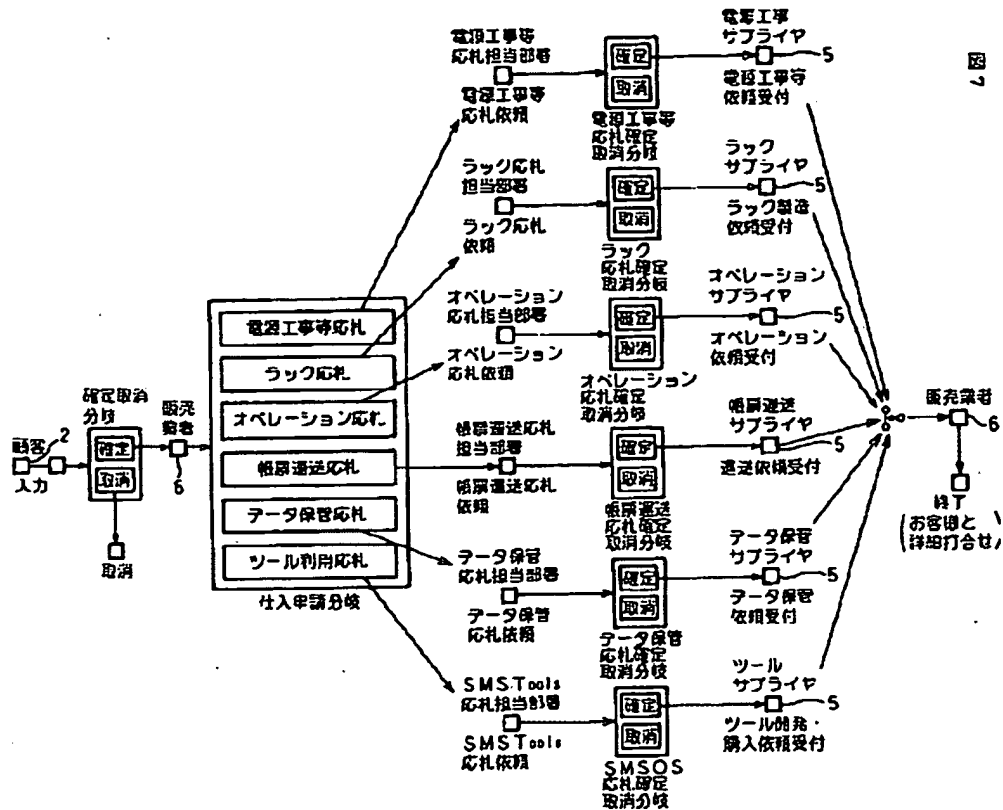
[illegible]

【図4】

注文管理用電子フォーム  
12

注文番号	数量	単位	初期費用	月額費用	収期日	返済	納期	支払
スペース利用			小計	小計				
空気・空調利用								
オペレーション (SMSOperations)								
モニター監視								
バックアップ								
印刷								
データ保管								
ツール利用								
OS監視・管理								
DB監視・管理								
JOB監視・管理								
NW監視・管理								
障害通知								
合計								

【図7】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**